

総合模試(11月)結果

…各教科の分析から

総合模試全国偏差値

	国数英	国語	数学	英語	ss60 以上
7月模試	56.8	56.1	56.7	54.4	80人
11月模試	57.4	57.0	56.2	56.0	80人

全国偏差値上昇 133 人、下降 100 人

11 月模試について今回は各教科の分析を掲載します。振り返り学習や今後の取り組みに活用しましょう。次回の 1 月模試から 2 年生 7 月模試にかけてどれだけ成績を伸ばせるか、がポイントです。

【国 語】

今回の模試の結果について 1 年国語科で分析してみました。まず、今年の国語の平均点偏差値は「57.0」となっており、前回 7 月の結果よりも上昇しています。また、各クラスの平均点偏差値の差が前回より格段に縮まっています、学年全体として底上げされたのかなとも思います。その点はよかったです。

一つ気になるのは、今回の模試の平均点です。昨年の模試の全国平均点は約 36 点で、今年は約 43 点となっています。それに対し、本校は約 54 点でした。また、7 月の模試も過年度に比べてかなり高い平均点でした。その中で、今年の 1 年生は過年度よりもやや高い偏差値の推移を見せています。ただ、模試の難易度が全体として上がった時にその成績を維持、上昇させられるかは未知数です。模試前に過去問の自己採点をしたものを提出してもらいましたが、その結果では難易度の高い問題にもある程度対応できる結果にはなっていました。ただ、実際の模試の中で難易度が上がった時の結果がわからないので、油断せずきちんとした対策を立てていくべきだと思います。

さて、分野別平均点に目を向けると、目立つのは漢文です。前回 7 月模試の解説で次の模試のカギになるのは漢文であると書きました。結果として、今回漢文の全国平均点が 6.8 点で本校が 11.6 点と 5 点近く上回っています。

す、この数字は全道の公立高校の中で 4 番手、札幌地区を除く高校ではトップの成績でした。この背景には、1 年生の学力や読解力の伸長もあると思いますが、模試直前に行った漢文の読み 50 の中から 2 題がそのまま出題されたことも大きいと思います。漢文の模試等に出題される語彙はある程度決まっているので、その知識を繰り返し徹底させることが大切であるということが改めてわかりました。ただ、今回の結果はそのような影響もあるので、そのまま漢文の本質的な力があると断言できるものではありません。今後も安定した漢文の成績を維持していくには、特に「疑問・反語」を中心とした句法力をつけていくことが大切です。

それ以外の評論、小説、古文の分野に目を向けると、評論が約 2 点、小説が約 1 点強、古文が約 3 点全国平均を上回っています。3 分野とも全国平均を上回っていますが、結果として、現代文分野の伸びが鈍いのがわかります。冬期講習後期を受ける生徒は、現代文模試等の過去問を行い、演習の機会を設けます。その他の生徒はソウトレ現代文 1 や過去問を冬休みの課題とします。ソウトレで現代文の読み方の基礎を復習し、過去問等で実際の問題演習をしてください。

それとともに、模試の成績はやはり古典分野の伸びが全体の伸びにつながっていることは明白です。今後もその学力の伸長を目指し、冬休み前期講習は基本全員参加で古典分野の強化ができるようハイレベル模試の過去問を含め、過去問等の問題演習を行い、プラスして助動詞の総復習や漢文の句法の整理を行っていきます。

最後に、1 月模試についてですが、以前に模試の担当の方から国語については高 1 の 11 月、1 月模試の 2 つの模試で安定した成績を残せると 2 年、3 年の成績も安定する傾向があると聞いたことがあります。そういった意味でも、一つ重要な意味を持った模試であることを意識して、精進して勉強しましょう。

うらにつづきます

学部学科研究会実施

…もっと調べよう自分の進路

【数 学】

数学全体の平均点偏差値は、56.2 であり、前回と大きな違いはありません。

単元別の偏差値も大きな差はありませんが、大問3の2次関数と大問4の2次不等式が潮陵高校の現1年生の課題になります。2次関数は問題が難しめで、全国平均点も低かったのですが、難しい問題で差をつけることが受験の時には大切になります。2次不等式は、他の単元に比べて平均点偏差値が低く、学年全体の課題であると言えます。2次関数・2次不等式は、入試でも必ず出題される単元ですので、しっかりと復習しておきましょう。

【英 語】

今回の全体偏差値は 56.0 です。前回7月模試では 54.4 でした。1.6 ポイントアップしています。過去5年間の中で潮陵の先輩方と比較して最も良い結果となっています。分野ごとに見てみると以下のようになっています。

設問分野	全国平均	本校平均	配点
リスニング	8.1	9.2	18
発音・アクセント	1.9	2.1	4
文法・語法	4.2	4.9	10
長文読解	6.6	8.7	24
長文読解	6.3	8.7	22
表現力	5.3	8.0	22
全 体	32.5	41.7	100

ご覧の通り、どの分野でも全国平均を上回っています。4月実施のスタディサポートでは他の教科に比べて英語が低く、心配な面がありましたが、着実に勉強を積み重ねて力を伸ばしています。下位層が少ない状態となっているのもこの学年の特徴です。学習集団として大変良い傾向にあります。朝テスト、日々の授業、週末課題、模試過去問演習、講習、家庭学習などを積み重ねていることが数字になって表れているのだと思います。

今後、着実にそして確実に実力をつけていくために具体的に動くことが大切です。なんとなく点数が取れて、成績が上がったという人、具体的に行動して「なんとなく」を消して確かな力をつけていきましょう。模試の復習はもう終わりましたか。模試ノートにまとめることは勉強ではなく、作業でしかありません。頭に入れて覚え、次にそれを使えるようになることが勉強です。何度も繰り返し勉強して、1月模試につなげていきましょう。

中間考査最終日の午後から、1年生全員参加で学部学科説明会が実施されました。

14の学部学科についてそれぞれ大学から講師を招いての分科会形式で行う研究会です。北海道大学や小樽商大をはじめとする道内の国公私立大や東北大学や中央大学などの道外からも日程を調整して協力していただきました。



生徒諸君は大学や学部の表面しか見ていないことが多く、イメージにとらわれがちです。日頃から自分でいろいろな大学や職業について研究して疑問や関心を持っておくことで、こういう機会をより有意義に活用できるのではないかと思います。

今後の予定

- 12/4 (月) 科目選択本調査配付
- 12/11 (月) ⑦ GTEC
- 12/13 (水) 科目選択本調査提出締切
⑦ GTEC
- 12/22 (金) 大掃除・全校集会
- 12/23 ~ 12/28 冬期講習前期
- 12/29 ~ 1/3 校舎閉鎖